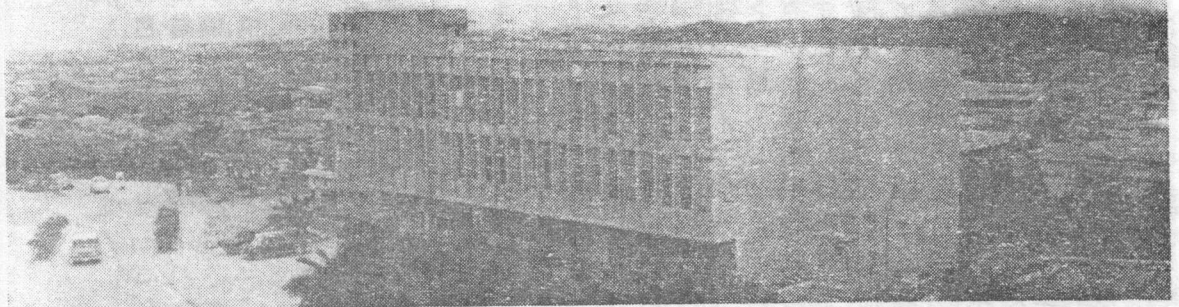


び ぶ り お



VOL. 3 No. 2 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1969. 6. 20
(通号. 9号)

資料の探し方から入手まで

-卒論や論文をかく国文学科学生のために-

1. はじめに

教養課程を終え、3年繼の専門課程に入った者は国文科の学生にかぎらず、卒論制や、それに代るべき制度をとっている学科の学生は論文作成を始めねばなるまい。卒論は、在学四ヶ年の研究成果であり、学生諸君にとっては一大事業そのものであると思う。卒論や、論文は、テーマ(論題)が決ってなければ一行たりともかけないし、もちろん資料収集も不可能である。

今日は、「出版物の氾濫時代」といわれ、その中から自分の求めている資料を、必要とする時にすみやかに手に入れることはなまやましいことではなく、所在さえもなかなかつかめないありさまである。そこで卒論のテーマに関連した資料にはどんなものがあり、またそれらの資料はどこにあるかをつきとめねばならない。

2. 過去に出版された文献目録

卒論のテーマに関連した資料を集めるにあたり、先ず先人が作成した文献の書誌、目録、案内などがないかどうかを調べる必要がある。それは文献目録があるのと否とではその人の研究過程に大変な利益も不利益も、もたらすからである。したがって、資料集めの最初はこれらの文献目録の存感否と、所在を知ることから始めねばならない。

琉大の図書館にはどんな文献目録があるか -先ず最初に目録カードをあたってみる必要がある。目録カードは一冊一冊の本

をあらわすと同時に資料を探すための道具だからである。
もし学生諸君が、特定の資料名をあらかじめ知っているのであればその資料名で探すことができるし、また著者名（或は編者名）で探すこともできる。

しかし、資料名も、著者名もいづれもしらない場合、どうしたら求める資料がみつけれらるだろうか？ それは資料の内容からしらべ方法をとればよい。

即ち、件名目録（資料の内容を単語であらわした目録）で探せばみつけることができる。

例へば、日本文学に関する文献目録がないかどうか、これは、「日本文学一書誌」という件名カードを探しだすことができる。

このようにしてみつけたされた文献目録の主なものに次のものがある。

9/10.31-A 93 麻生 磯次編 国文学研究書目解題 再版
至文堂 昭.33 (1958)

この文献目録は、上代から明治までの日本文学に関する主要研究書（雑誌論文は含まれない）で、昭和33年3月までに出版されたものについて解説を加えたものであり、排列は、一般、上古、中古、近世、近代の順に大別し、各項目内をさらにジャンルによって分類排列してある。巻末には書名索引がある。

また雑誌論文を含めたものに次のものがある。

8/10.31-Sa25 齋藤 清衛編 国語国文学論文總目録 昭和
20年8月～同28年7月 至文堂 昭.29

本書は書名にもあるように、昭和20年8月から同28年7月までに発表、ならびに刊行された国文学、国語学及び国語教育に関する雑誌論文と、図書の日録で、排列は前篇、雑誌掲載論文目録と後篇、主要単行本日録に分け、その中を主題別にし、さらに時代区分をしてある。そして巻末には論文表題細目表と採録雑誌一覧がある。

以上の2頁は過去に出版されたものでそれらの中から自分の卒論に必要なと思われる資料を選べばよい。

3. 現在継続出版中の文献目録

前にも述べたように、毎年いろいろの図書や、論文が発表または刊行されているがこれらの資料を1ヶ年単位でまとめた文献目録に次にあげるものがある。

810.31-To46

東京大学国語国文学会編
文献目録 昭和41年度

国語国文学研究
至文堂 昭.42

この目録は過去1ヶ年間の国語学及び国文学に関するもので、雑誌紀要論文目録と単行本解説の2つからなり、排列は主題別であるものはさらに年代別にしてある。巻末には収載雑誌紀要一覧、特集号一覧、単行本書名一覧、その他がある。〔なお琉大図書館には昭和41年版の外に昭和38、39、40年版もある〕

また国語年鑑の中にも過去1ヶ年の文献目録が収録されている。

810.59-K047

国立国語研究所編
秀英出版 昭.42

国語年鑑 昭和42年版

これは書名のとおり国語に関する年鑑で、その中^に年間の、国語、国文学関係刊行図書一覧（一部解説あり）国語関係雑誌論文一覧及び国語関係新聞記事一覧等をのせている。排列は主題別にしてあり、巻末には著者名索引がある。〔なお琉大図書館には昭和36、38、41年版もある〕

それから毎月発行されるものに、国立国会図書館の雑誌記事索引がある。

039-Z1

国立国会図書館編 雑誌記事索引 人文・
社会編 1948年9月～

この索引は、国立国会図書館に納本された和雑誌（七学紀要及び官庁出版物を含む）の中、人文科学及び社会科学関係雑誌に発表された論文の索引である。論文の排列は、主題別による分類の中を項目（件名に相当）に分け、さらに著者名の五十音順にしてある。また巻末には採録誌名一覧を付してある。

次に、各大学、学会紀要等掲載論文の要旨を収録してある学会誌をあげることができる。

910.5-B

全国大学国語国文学会編
42号 昭和41年～

季刊文学・語学

この学会誌には、過去1ヶ年の間に各大学、学会紀要に発表された論文の要旨が年四回に分けて収録され、それぞれ各大学の紀要別に分類排列されている。また春秋2回の全国大学国語国文学会研究発表論文要旨も採録されるので各大学の研究動向をつか

むことができ、大変重要な文献資料になっている。

その外、琉大図書館所蔵雑誌記事目録もある。これは毎月琉大図書館が受入れている和雑誌（購入のみ）の記事から日本文学に関するものや、特集号をぬきだして作った目録である。

4. 原資料へのアプローチ

以上、2, 3において琉大図書館が所蔵する「日本文学」に関する主な文献目録について述べてきたが、それらの文献目録に収録された資料すべてがこの図書館にあるわけではなく、実状はないのがほとんどである。

そこで諸君が作成した文献リストからこの図書館が所蔵する図書資料については著者名目録や、書名目録で探ることができ、また雑誌論文資料については雑誌室の雑誌目録をみれば原資料にアプローチすることができる。

琉大図書館にない資料については書店を通して買い求めるか、或は本土の所蔵する大学図書館に複写依頼してとりよせることも可能である。〔なお所在目録は雑誌資料室にある〕

最後に、「資料の探し方から入手まで」について述べてきたが昔から「卒論は足で書け」との先輩の言葉もあり、また資料集めは論文作成過程の約50%強を要するといわれているので早めにとりかかってもらいたい。

註； 論文作成のための主な参考文献を次にあげ^{るので}参照されたい。

816-A30 秋山 虔 論文の書き方 -国語・国文学科生のために- 3版 昭.35

816-J49 時事教育研究会 論文・レポートの書き方と作文技法 昭.33

910.5-K045 川上 潤 リポート・論文の能率的なつくり方 国文学解釈と鑑賞 Ⅶ 31 #7 昭和41年5月

910.5-K045 長野 嘗一 卒業論文の準備から提出まで 国文学解釈と鑑賞 Ⅶ 10 #8 昭和40年6月

(文責・雑誌担当参考司書 新井裕丈)

琉球大学附属図書館報 "ひばりお" Vol.3 No.2 1969年6月20日発行
編集兼発行人 平良 恵仁 琉球大学附属図書館発行
沖縄那覇市当蔵町3丁目1番地 電代表 4-0101 内線240